

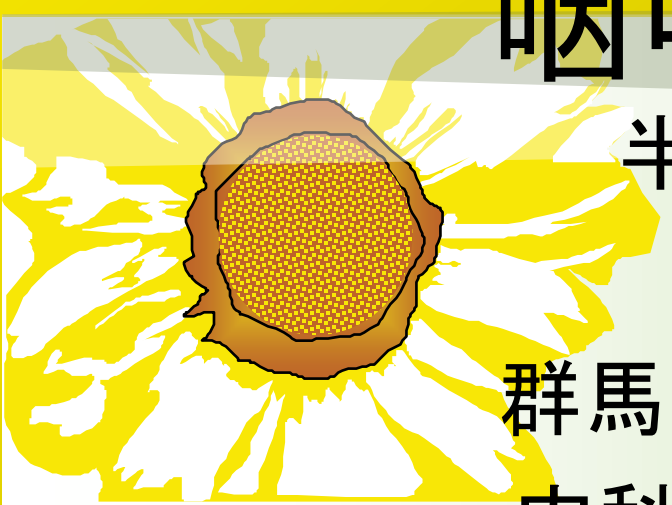
咽中灸嚮の臨床

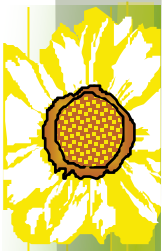
半夏厚朴湯と鍼治療

群馬リハビリテーション病院

内科、リハビリテーション科

西 勝久





咽中炙癬とは



医聖 張仲景画像

張 仲景

傷寒雜病論

現在では、傷寒論と金匱要略

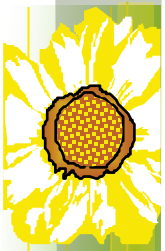
金匱要略

水気病脈証並びに治

「病者苦水、面目身體四肢皆腫、小便不利、脉之、不言水、反言胸中痛、氣上衝咽、**状如炙肉**、当微欬喘。」

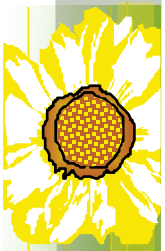
婦人雜病脈証並びに治

「婦人咽中如有炙癬、**半夏厚朴湯**主之。千金、作婦人胸滿、心下堅、咽中帖帖如**有炙肉癬**、吐之不出、吞下不下。」



咽喉頭異常感症

- ❁ 患者が咽喉頭に異常感を訴えるが、通常の耳鼻咽喉科的視診によっては、訴えに見合うような器質的病変を局所に認めないもの。
- ❁ →咽喉頭異常感を訴える患者のうち、器質的病変が存在しない患者に対して用いる除外診断名。
- ❁ 食道がん、咽頭がんなどの致命的疾患、全身的疾患、精神的疾患まで含まれている。



咽喉頭異常感症

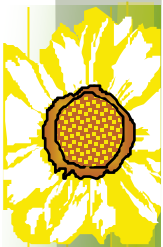
- ❁ スクリーニング検査：血液検査、CRP, ASLO, 血清鉄、生化学検査、甲状腺機能
- ❁ 尿検査、胸部X-P, 血液検査
- ❁ 耳鼻科的診察
- ❁ 内科では、上部消化管内視鏡、下咽頭食道造影X線
- ❁ 頸部、胸部のCTやMRI
- ❁ 咽喉頭異常感を訴える80%は局所的疾患が原因



咽喉頭異常感症

1. 局所的原因

- a. 形態異常：舌扁桃肥大、喉頭蓋形態異常、過長莖狀突起症、食道憩室、食道狭窄、喉頭斜位
- b. 炎症：慢性副鼻腔炎、咽喉頭炎、扁桃炎、逆流性食道炎
- c. 腫瘍：咽喉頭良性腫瘍、咽喉頭悪性腫瘍、甲状腺腫瘍、頸部食道癌
- d. その他：咽喉頭異物、食道異物、唾液分泌障害、喉頭蓋嚢胞、喉頭アレルギー、異所性甲状腺



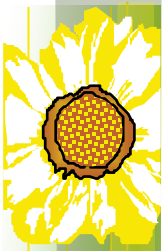
咽喉頭異常感症

2. 全身的要因

- a. 貧血、Plummer-Vinson症候群、心肥大、大動脈瘤、胃腸疾患、自律神経失調症、内分泌障害、代謝障害、更年期障害

3. 精神的原因

- a. 神経症：心気症、不安神経症、強迫神経症、ヒステリー
- b. 精神病：統合失調症、うつ病
- c. 心身症

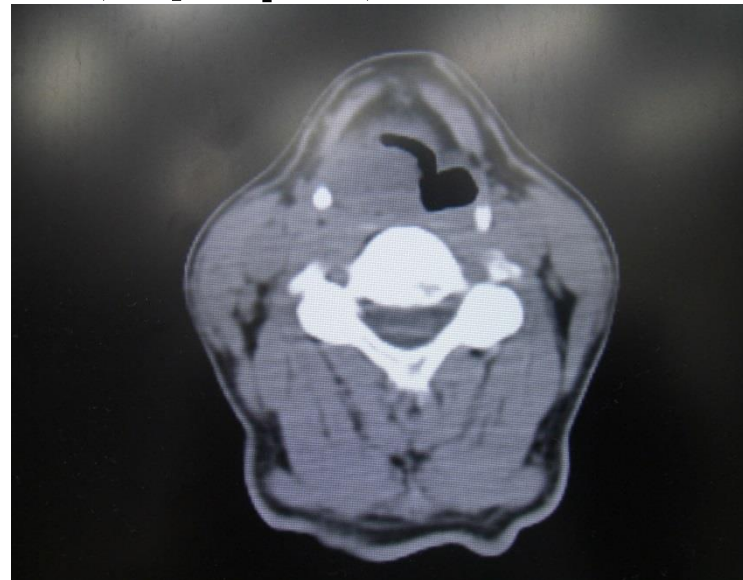


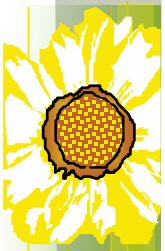
咽喉頭異常感症

- ❁ 症例 61歳 男性
- ❁ 半月前から咽のつまっているかんじあり。痰がでる。鼻水もでる。近医耳鼻咽喉科に通院しており、のどに炎症があると言われている。食事はとれる。固形物がとりにくいことない。水分でむせることもない。嗝声もない。
- ❁ 既往歴：平成X年12月に食道癌。埼玉県立ガンセンターで手術。最終の内視鏡検査からは1年経過している。

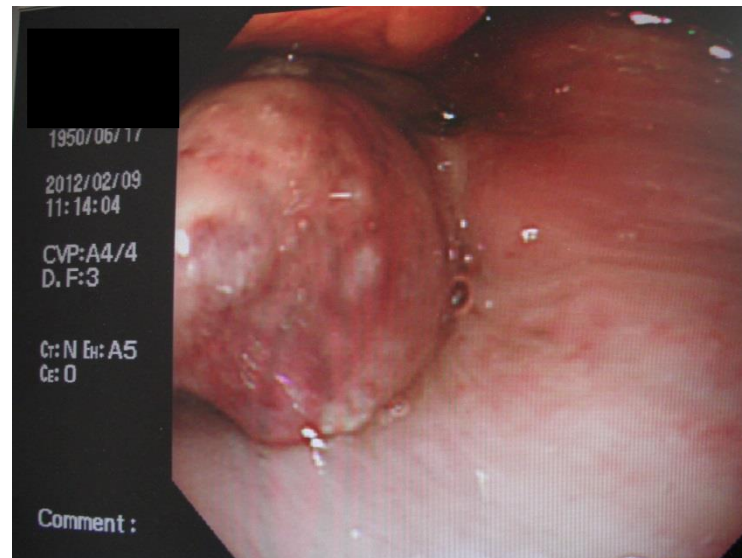
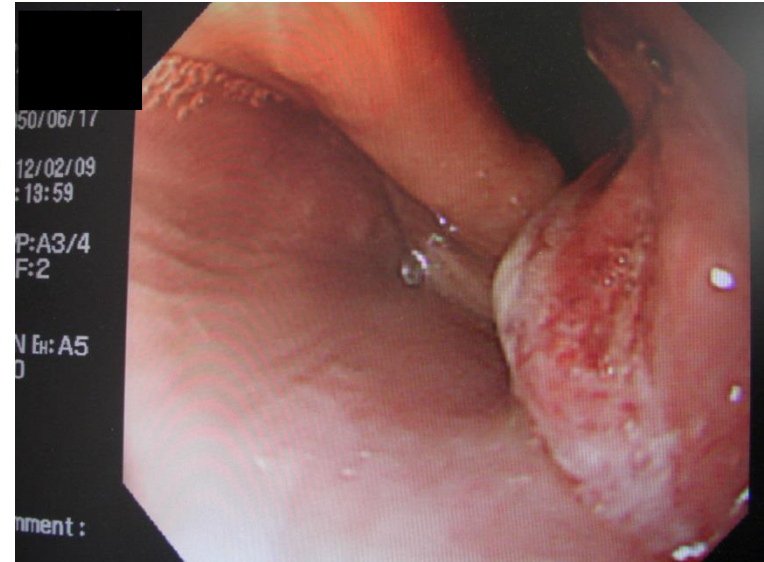
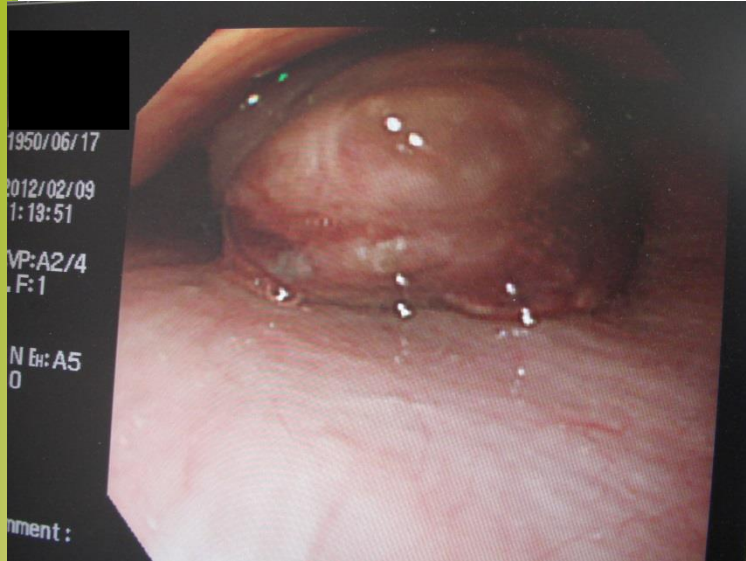


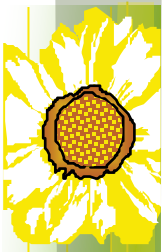
胸部CT(单纯)





上部消化管内視鏡





病理所見

組織所見

食道・胃吻合部生検

#1 表層粘膜、腸上皮化生なし

浮腫状の間質にリンパ球・形質細胞浸潤が軽度みられます。上皮には過形成性変化がみられます。

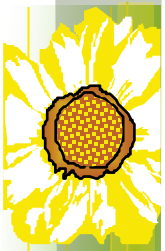
喉頭生検

#2 carcinoma

濃染する巨大核を持つ細胞が髄様に増殖して見られます。角化ははっきりしません。低分化の癌が考えられ、低分化型の扁平上皮癌と判定します。

#3 潰瘍底組織

#2と同様の異型細胞が少量みられます。



咽中灸嚮

- ❁ 東洋医学的治療を行う前に、或いは並行して現代医療が最優先される病態が隠れていないかどうかをチェックしておくことが大切である。
- ❁ 漢方医が、現代日本の医療のなかで認められるためには、現代医学のみの医者と同等あるいはそれ以上に現代医学に精通し、その上で、東洋医学を駆使できるようになることが必要である。

咽中炙癰の東洋医学的病態

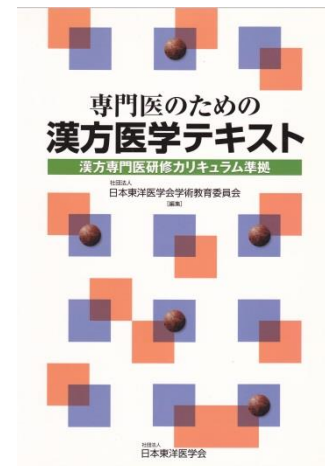
❁ 「専門医のための漢方医学テキスト」: 日本東洋医学会、2009年

❁ 気の異常と治療

❁ 気の滞り: 気鬱、気滯

❁ 咽中炙癰(梅核気)

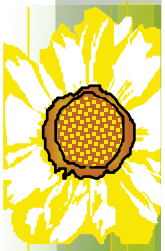
❁ 炙った肉片のようなものや、梅干しの種のようなものが、咽喉にいつもひっかかっているようで気になり、飲み込もうとしても飲み込めず、吐き出そうとしても吐きだせない。





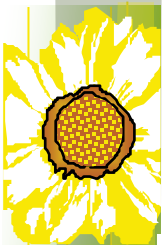
咽中炙癰の生じる機序

- ❁ 金子幸夫著：「金匱要略解説」p535～
- ❁ 内傷七情等の情志が失調すると、**肝気鬱結**が発生し、**脾**の水湿の運化を主る機能が失調する。**脾**の水湿の運化を主る機能が失調すると、停滞した津液が凝集して痰になり、生じた痰と鬱結した気が合わさり痰気となる。痰気が肝経を介して咽喉部に上逆すると、**痰気鬱結**が発症する。



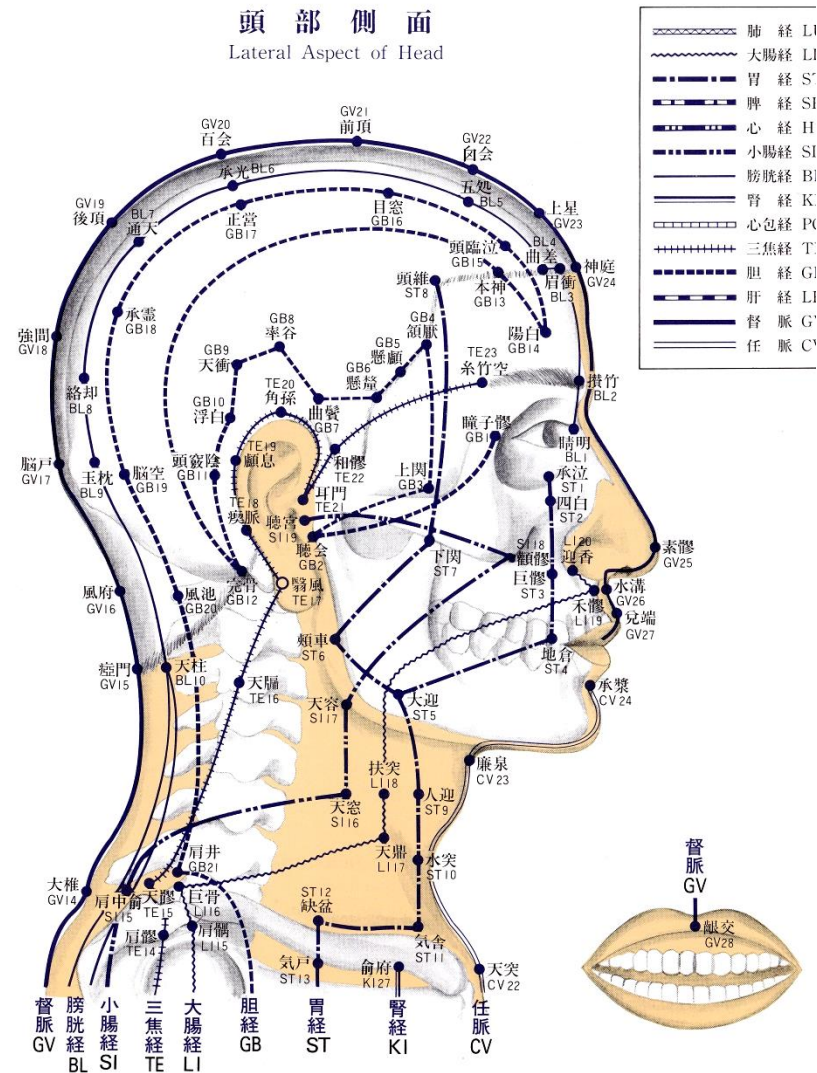
咽中灸嚮と肩こり

- ❁ 気鬱、気滞が、咽中灸嚮をひきおこす病態
- ❁ 肩こりも気滞の代表的症状
- ❁ 咽中灸嚮を訴える人の肩こりの有無と胸鎖乳突筋（SCMM）の鎖骨頭（欠盆）圧痛の有無を調べた。
- ❁ 外来にて咽中灸嚮を訴えた人：27名
- ❁ 平均年齢 58.4歳、男性5人、女性22人
- ❁ 肩こり有る人：27人中26人
- ❁ SCMM圧痛のある人：27人中26人
- ❁ 肩こりない人、SCMM圧痛のない人は同一



咽中灸嚮と足陽明胃經の圧痛点

頭部側面
Lateral Aspect of Head



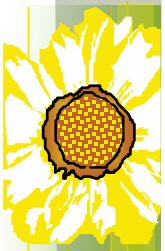
胸鎖乳突筋の付着部
胸骨
任脈、足少陰腎經
鎖骨
足陽明胃經
側面:
足少陽胆經、
手少陽三焦經
手陽明大腸經
後頸:
足太陽膀胱經、督脈
肩
手太陽小腸經

咽中灸嚮は、頸部を通る
経絡の気の滞り
→ 閉塞感、経穴の圧痛
→ 不通則痛



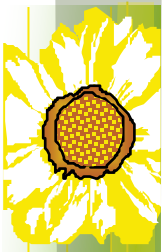
咽中灸癰

- ❁ 東洋医学的症狀発生機序
- ❁ 足陽明胃經を含む頸部を通る経絡の気滞
- ❁ 咽喉をとりまく、筋肉のコリ = 経筋病
- ❁ 口腔から咽喉部にかけてはほぼすべての経脈が絡んでいる。
- ❁ 胃と脾は表裏 → 咽中灸癰の大元は、脾の運化機能の低下
- ❁ 脾は、肝に剋される。
- ❁ 思慮過度によって、肝虚となり、脾が病み、その症状が表である腑（胃、大腸、膀胱、小腸、胆、三焦）にあらわれている。



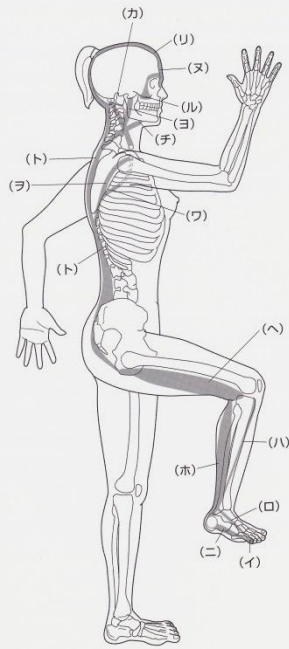
経筋とは？

- ❁ 黄帝内经；靈枢 経筋篇
- ❁ この時代の筋肉解剖学および病症を記述したもの
- ❁ 高式国著：「針灸経穴名の解説」
- ❁ 経絡は筋肉と筋肉の境目から生じ、二すじの経筋で一本の経絡をはさんでいるものと考えられるが、それらはちょうど両側の山が、ひとつの谷をはさみ、両岸がひとつの川をはさむようなものである。解剖上ではただ経筋だけ取り出すことが出来、二すじの経筋がはさんでいる経絡は引き出すことはできないのである。
- ❁ 経絡を知るには、まず経筋を知るのがすじみちである。

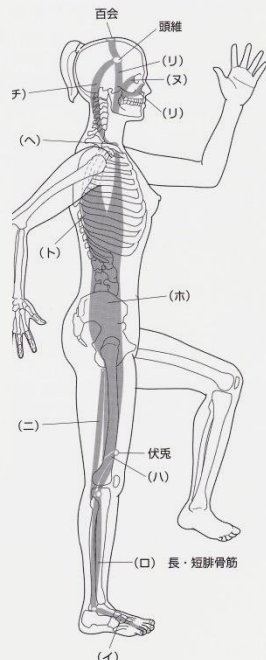


頸部を通る経筋

篠原昭二著：誰でもできる経筋治療より

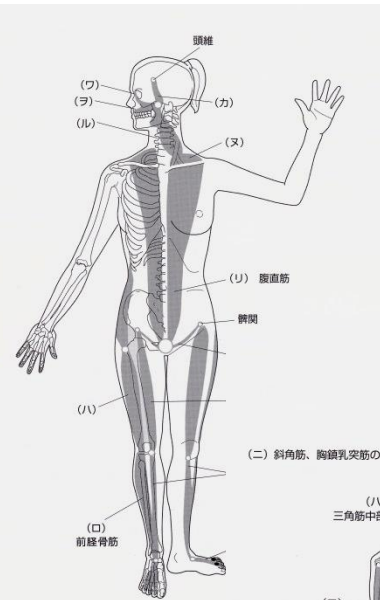


足太陽経筋
足太陽経筋②



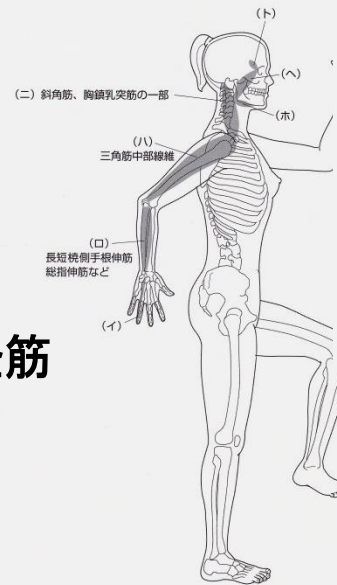
足少陽経筋

足少陽経筋①



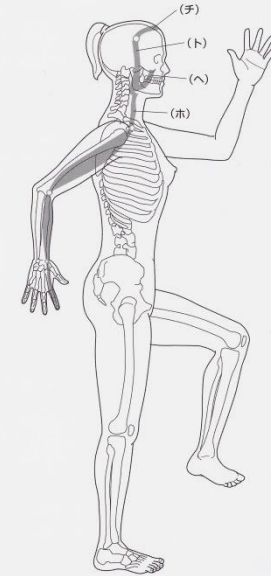
足陽明経筋①

足陽明経筋



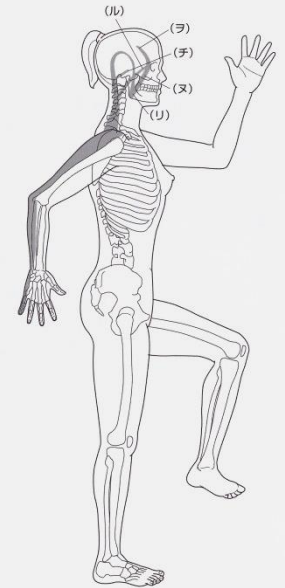
手少陽経筋

手少陽経筋



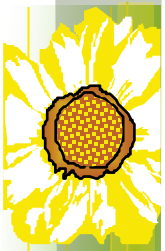
手陽明経筋

手陽明経筋②



手太陽経筋

手太陽経筋②



咽中灸鬻の鍼治療

西田皓一著 東洋医学見聞録(下巻)より

- ❁ 主治穴：天突、膻中、内関、豊隆、太衝
- ❁ 補助穴：肝の症状：行間、肝兪、百会
- ❁ 脾の症状：中腕、陰陵泉、三陰交
- ❁ 腎の症状：太谿、照海、復溜
- ❁ 体力低下：足三里、気海
- ❁ 経筋療法：**圧痛点が治療穴、「以痛為輸」、**
治療は焼鍼を用いて速刺速抜する。回数は
効果が現れるまでとし、痛む箇所を取穴する。

黄帝内経：靈枢：経筋篇：現代語訳黄帝内経靈枢

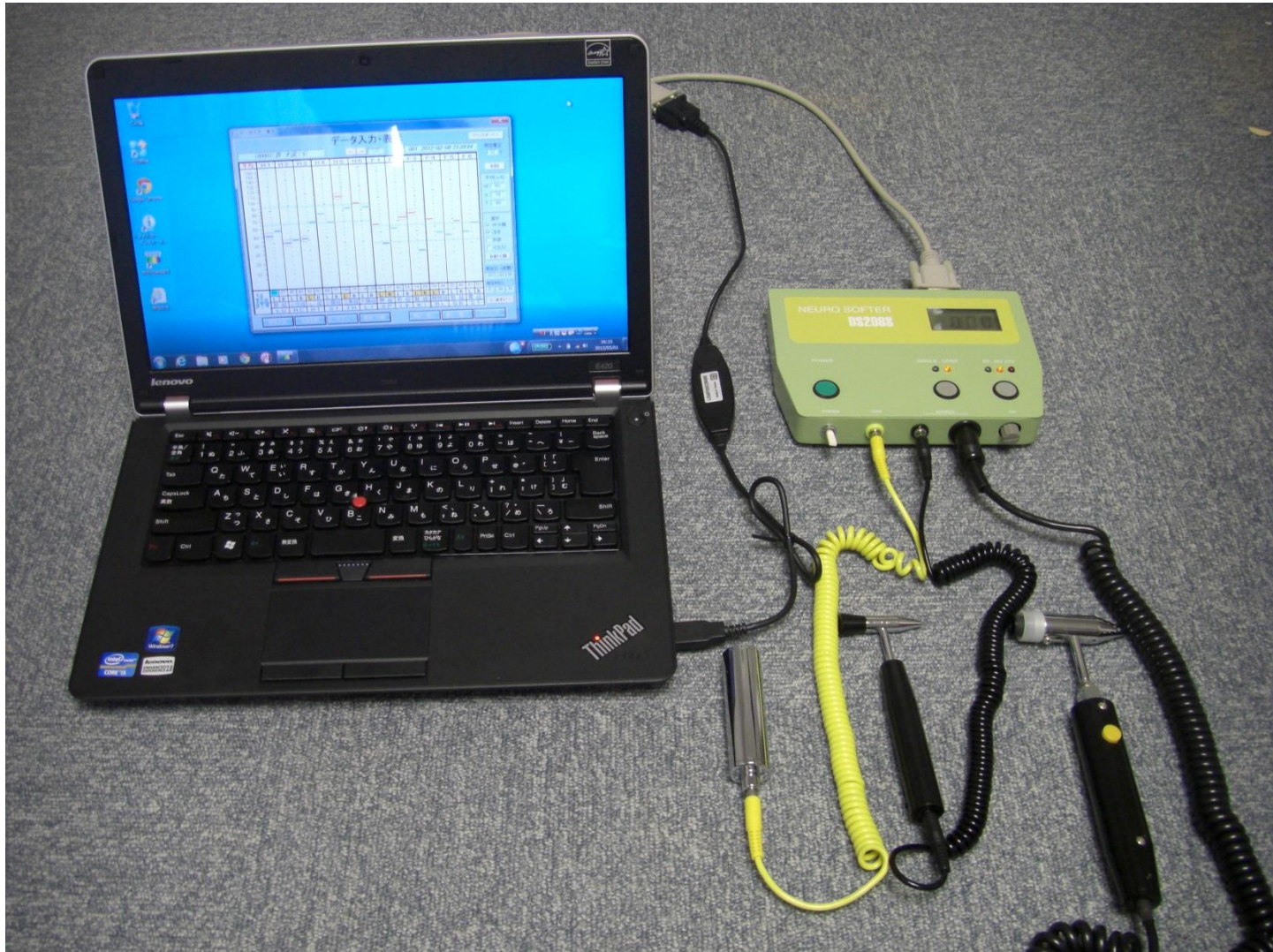


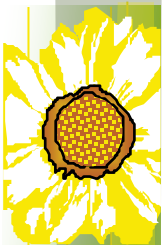
咽中灸嚮の良導絡治療

- 良導絡とは主に病態の体表に現れる「電気のよく導かれる特定の部位の連絡系統」をいう。非生理的な病的現象として出現する反応良導点が機能的なつながりとして、特定の形にあらわれたものを良導絡という。
- 反応良導点：ノイロメーターの電圧を12Vで探索したときの、周囲より電気のよく流れる点
- 反応良導点を刺激する、反応良導点治療
- 良導絡測定してから治療、全良導絡調整療法



良導絡測定システム





良導絡測定システム

加付NO	2430	氏名	[Redacted]	女	53
SEQ	001	測定日	2007-07-19 15:26:32	平均値	HF:37 μ A H:43 μ A F:31 μ A

※ 各良導絡に併記されたものは経絡名であり、解剖学上の臓器名ではありません。

測定電圧 12Volt

平均	H1	H2	H3	H4	H5	H6	F1	F2	F3	F4	F5	F6														
160																										
150																										
140																										
130																										
120																										
110																										
100																										
90																										
80																										
70																										
60																										
50																										
40																										
30																										
20																										
10																										
	45	39	20	27	24	24	40	36	91	86	38	51	41	49	17	35	24	20	35	39	13	18	39	48		
	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R
	肺経	心包経	心経	小腸経	三焦経	大腸経	脾経	肝経	腎経	膀胱経	胆経	胃経														
	LU	HC	HT	SI	TH	LI	SP	LV	KI	BL	GB	ST														

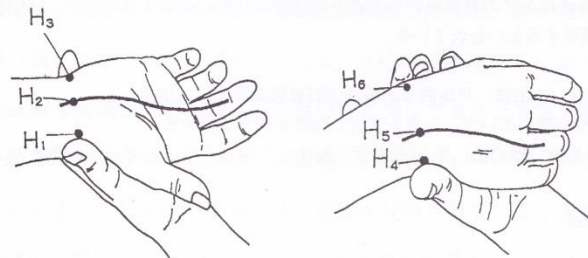
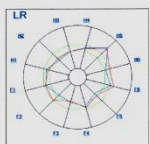
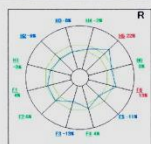
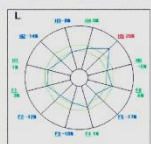
調整点

《抑制点》

H5 (三焦経) [興↑]	H5 10 天井 (テンテイ)	TH 10	VM4 石門 (シキモン)	CV 5
F6 (胃経) [興↑]	F6 1 厲兌 (レイタイ)	ST 45	VM11 中冲 (チュウチュウ)	CV 12

《興奮点》

F5 (胆経) [抑↓]	F6 2 侠谿 (キョウケイ)	GB 43	F4 42 胆俞 (タンユ)	BL 19
H2 (心包経) [抑↓]	H2 1 中衝 (チュウシュウ)	HC 9	F4 50 關陰俞 (クワンインユ)	BL 13
F3 (腎経) [抑↓]	F3 7 復溜 (フクリウ)	KI 7	F4 34 腎俞 (ジンユ)	BL 23



良導絡測定点

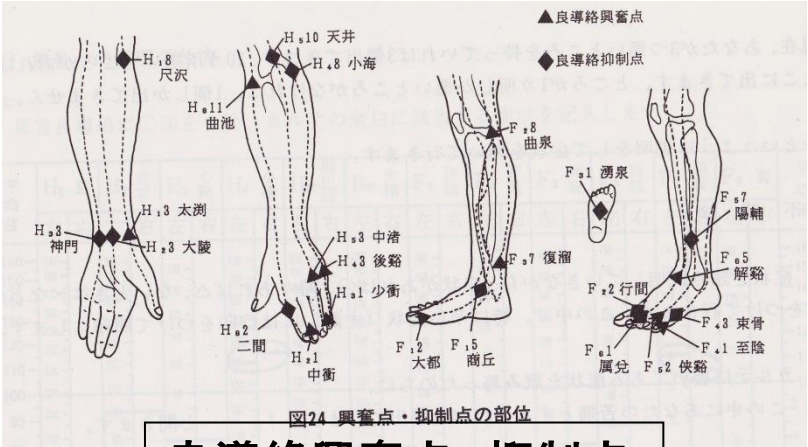
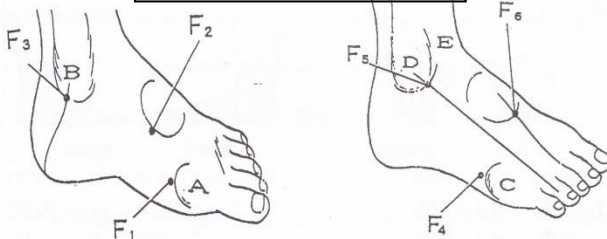


図24 興奮点・抑制点の部位

良導絡興奮点、抑制点



咽中灸嚮の良導絡治療



兵頭正義著：痛みの新しい治療法より

Head neck points (HNP)

頭・顔面・目・鼻・耳・頸部および肩から上の疾患には必ず加えておくことが望ましい治療点である。

この全部を行なうのではなく、たとえば百会・完骨・風府・天柱・肩井、あるいはもっとも重要な百会・天柱・肩井のみに止めてもよい。

いづれも骨に接触するくらいまで深く刺入する方が効果がよい。ただ、夏期に、とくに若い人などでは脳貧血を起こしやすい部位であるから、適宜はじめは弱刺激とすることが望まれる。

なお、上半身のみに刺激がかたより過ぎるばあい、最少限、足の三里など下半身の刺激も行っておくこと。

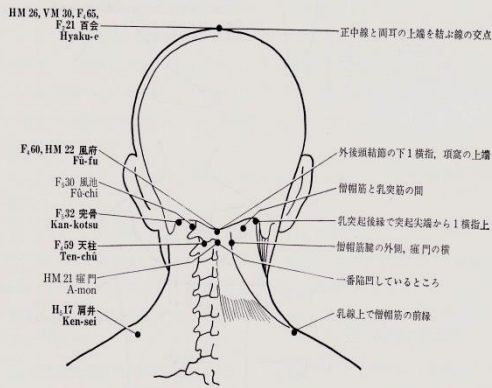


図 71

全身の基本点 General basic points; GBP

ここに全身のもっとも基本的な治療点 (GBP) をあげる。これを行なうだけでも全身的な調整療法がある程度できるわけで、この上に疾患に応じた治療点を選べばよい。

昭和初期の沢田健は、この他に隔池・志室・次膠・腦俞・身柱・太谿を加え、これを大極療法とよんでいる。

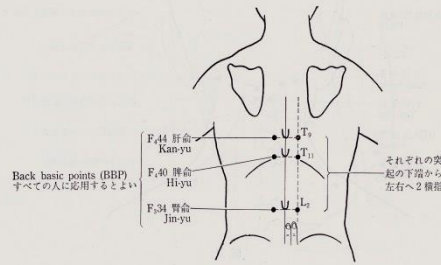
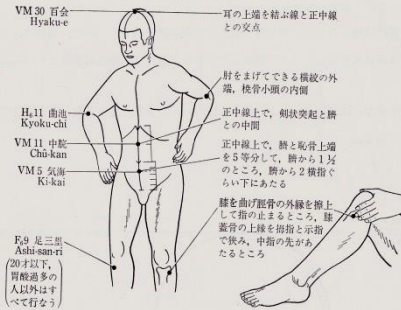


図 70

食道疾患・嚥下困難

慢性的な食道炎などに意外な効果を示すこともある。

嚥下困難や食道狭窄感、あるいは食道痙攣など機能的なものに対してはとくにすぐれた効果がある。物を食べてつかえたばあい、背中をたたくとスパスムが緩解するが、図がそのばにあたるわけである。

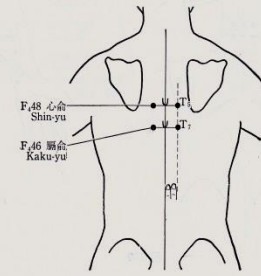
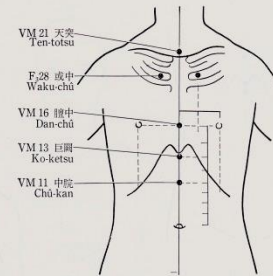


図 101



日本良導絡自律神経学会

～良導絡の創始者～



中谷義雄

❁ Scientific and Contemporary Alternative Medicine

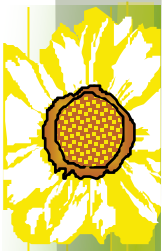
❁ 西洋医学は父なる医学

❁ 東洋医学は母なる医学

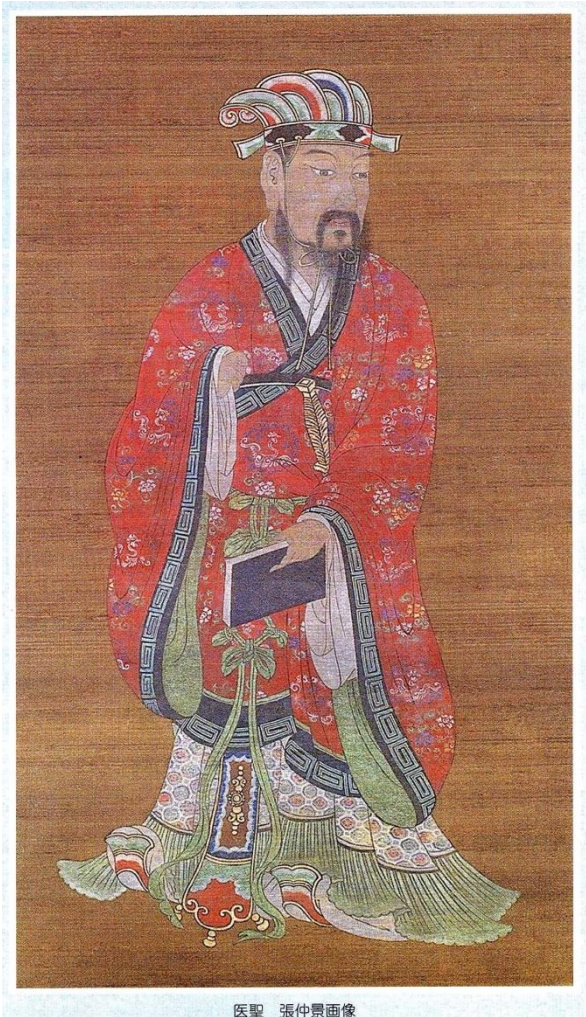
❁ 良導絡は愛なる医学

❁ 会員数 515人+ α ?

❁ 興味のある方は、日本良導絡自律神経学会ホームページを御覧ください。



咽中炙癢とは



医聖 張仲景画像

張 仲景

傷寒雜病論

現在では、傷寒論と金匱要略

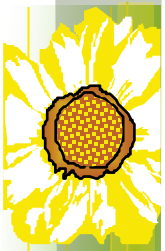
金匱要略

水気病脈証並びに治

「病者苦水、面目身體四肢皆腫、小便不利、脉之、不言水、反言胸中痛、氣上衝咽、**状如炙肉**、当微欬喘。」

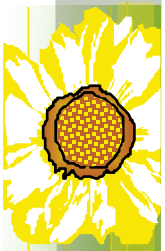
婦人雜病脈証並びに治

「婦人咽中如有炙癢、**半夏厚朴湯**主之。千金、作婦人胸滿、心下堅、咽中帖帖如**有炙肉癢**、吐之不出、吞下不下。」



龍野一雄先生：漢方医学大系

- ❁ 咽中灸癰（いんちゅうしゃらん）
- ❁ 咽はのどだが、ひろく咽頭、喉頭、気管、食道を指しており、中は真中の深いところの意、そこに灸った肉が引っかかっているような感じという意味で、のどがむずむずする、いらいらする、乾くような感じ、咳払いをしたくなるような感じ、声がかれるなどの異物感、刺戟感を訴えるものを漢方では咽中灸癰といっている。



咽中炙嚮の漢方薬

- ❁ 龍野一雄:「漢方医学大系 卷7」漢方カード
- ❁ 104 咽中炙肉感
- ❁ 橘皮枳実生姜湯
- ❁ 麦門冬湯
- ❁ **半夏厚朴湯**
- ❁ 参考
- ❁ 小青竜湯、梔子甘草豉湯、苓桂味甘湯



半夏厚朴湯

構成生薬

半夏 (はんげ)

サトイモ科カラズビシヤクかいけいの塊茎かいけい。
有効成分はエフェドリンなど。制吐せいと、
去痰きよたん、鎮咳ちんがい、鎮静ちんせいなどの作用があり、
呼吸器疾患に用いるケースが多い。



茯苓 (ぶくりょう)

サルノコシカケ科マツホド (ブクリョ
ウタケ) の菌核。有効成分はエルゴス
テロール、パキマンなど。健胃、鎮
静、免疫強化などの作用があり、動
悸、めまい、不眠、不安などに有効。



生姜 (しょうきょう)

ショウガ科ショウガこんけいの根茎こんけい。成分は
ジンジェロール、ショウガオール、
クルクミンなど。健胃、鎮静、抗炎
症、抗アレルギーなどの作用があり、
かぜや冷え症の治療に用いられる。



厚朴 (こうぼく)

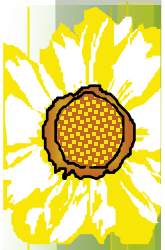
モクレン科コウボクの樹皮。マグノ
ロールなどの有効成分を含む。鎮静、
鎮痙、中枢の反射抑制などの作用が
あり、神経症、不眠、声枯れなどに
効果を発揮する。厚朴こうぼくを配合した漢
方薬のうち、最も頻繁に用いられる
のが半夏厚朴湯である。



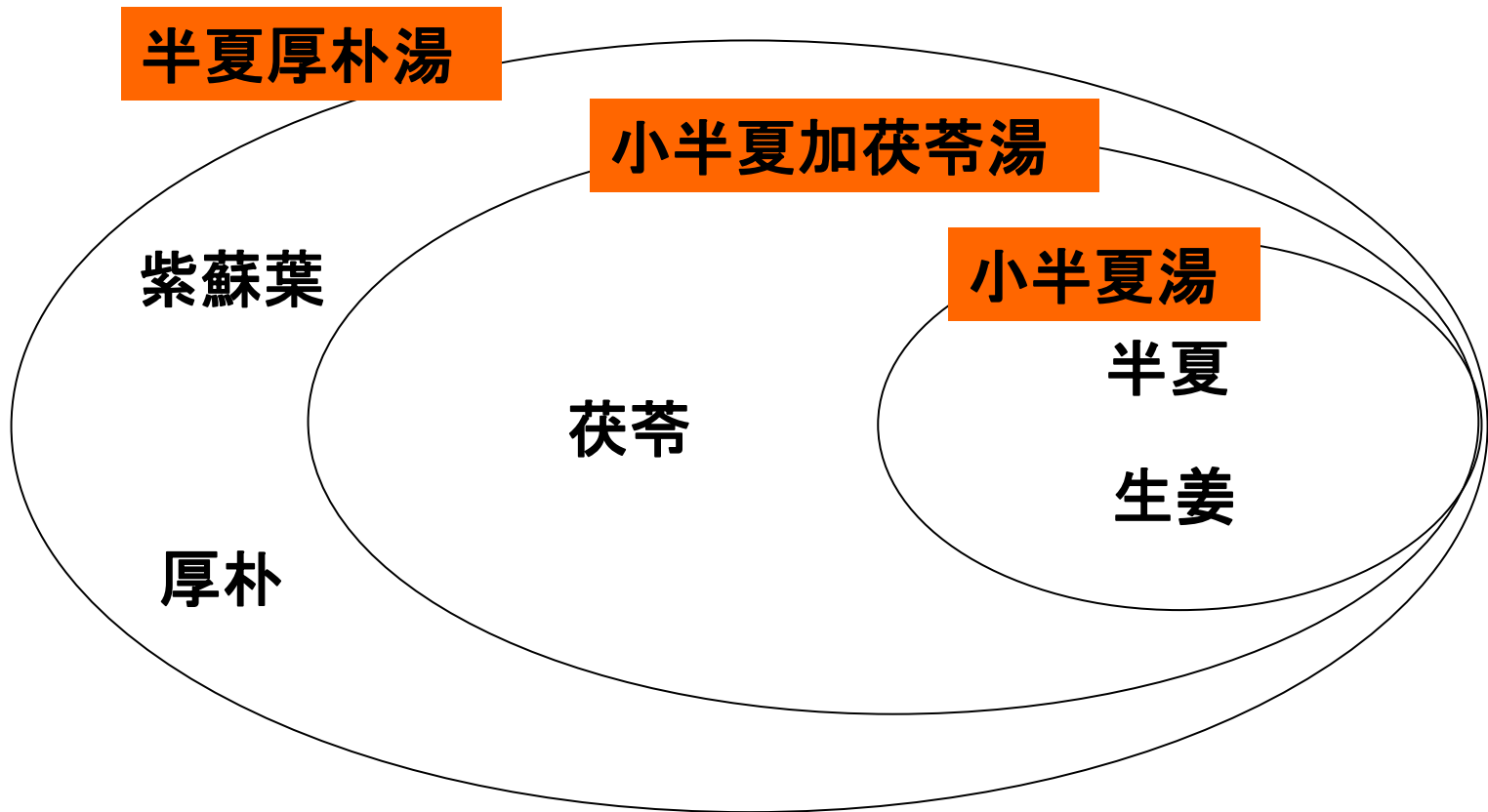
蘇葉 (そよう)

シソ科シソ、チリメンジソなどの葉。
ペリラルデヒドほうこうせい、シソニンなどの
有効成分を含む芳香性の健胃生薬で、
抗菌げんつ、解熱、鎮静、抗炎症などの作
用があり、かぜ、食中毒予防や食欲
増進、気付けなどに用いる。

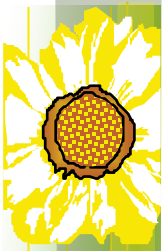




半夏厚朴湯



君：半夏、臣：厚朴、佐：茯苓、使：蘇葉、生姜



半夏厚朴湯

よくわかる金匱要略より

- ❁ 君薬：半夏6g、臣薬：厚朴3g、佐薬：茯苓5g、使薬：蘇葉2g、生姜1g
- ❁ 半夏+厚朴：痰飲を和す。気をおろす。満を散じる。
- ❁ 半夏+生姜：水の動揺逆行を和す。痰飲を除く。嘔吐を治す。停水、宿飲を除く。
- ❁ 半夏+茯苓：痰飲を和す。水気の逆行を下降する。悪心、嘔吐を治す。
- ❁ 紫蘇葉+半夏：痰飲を和す。気をめぐらす。咳を治す。
- ❁ 紫蘇葉+厚朴：気を下ろす。満を散じる。気をめぐらす。

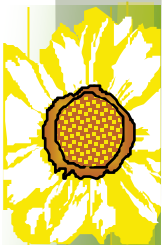
先哲の言葉1(半夏厚朴湯)

❁ 浅田宗伯「勿誤藥室方函口訣」

❁ この方は「局方」四七湯と名づく。気剤の権輿なり。故に梅核気を治するのみならず、諸気疾に活用してよし。「金匱」「千金」に据えて婦人のみに用ゆるは非なり。蓋し婦人は気鬱多き者故、血病も気より生ずる者多し





浅田宗伯肖像
(木村伸輔所藏)

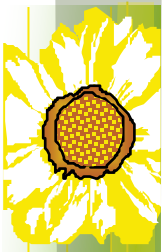


先哲の言葉2(半夏厚朴湯)

 尾台榕堂：類聚方広義

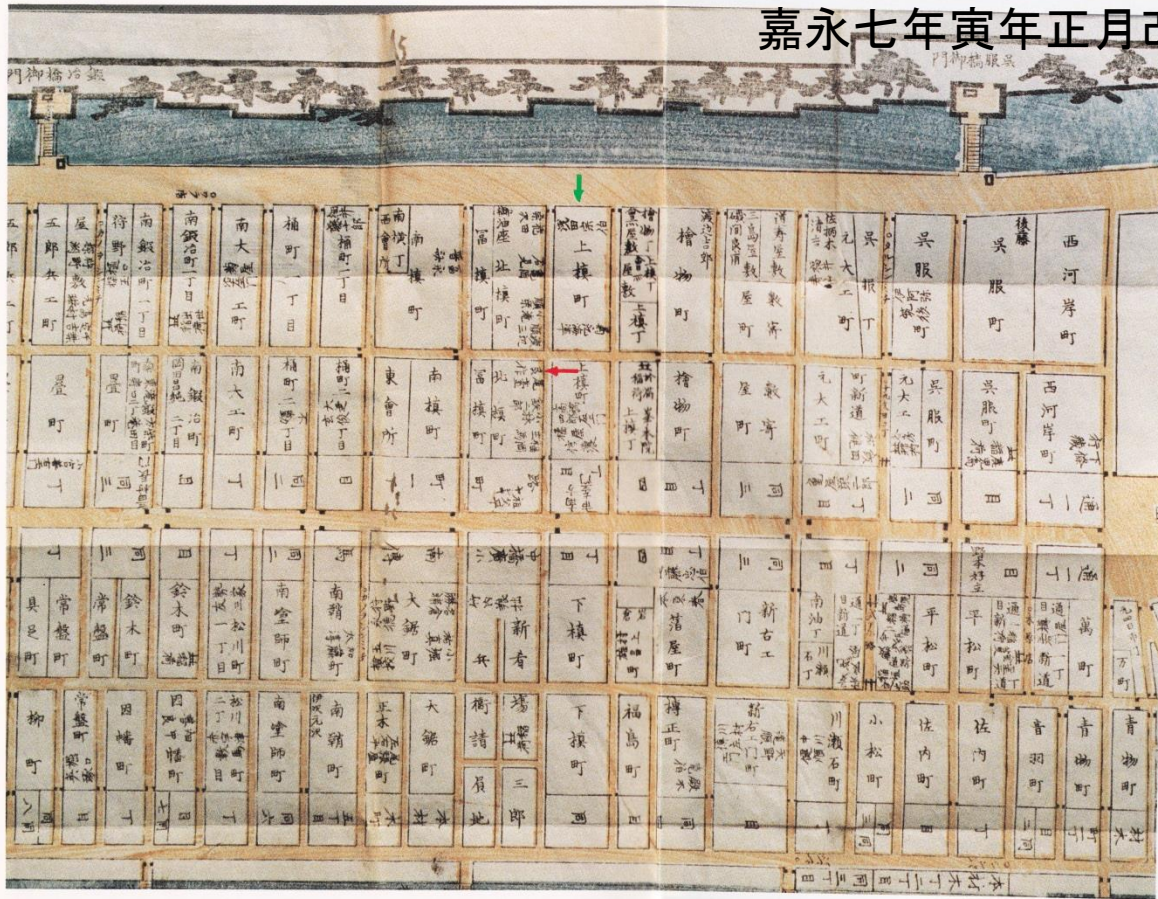
 吉益東洞の類聚方(咽中炙嚮有るが如く、或は嘔し、或は心下悸する者を治す。)に自分の治験や解説を加えた書物、現代でも多用される古方派のバイブル。大塚敬節先生も熟読していた。

 この症、後世謂う所の梅核気なり。桔梗を加えて尤も佳なり。——中略——又妊娠悪阻を治すること極めて妙なり。——中略——且つ蘇子を用う。その功蘇葉に勝る。



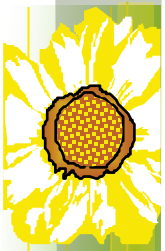
江戸時代後期の漢方重鎮

日本橋南京橋八丁堀靈岸嶋辺図全
嘉永七年寅年正月改正



嘉永七年尾台榕堂の住居図

再版日本橋南京橋八丁堀靈岸嶋辺図全
嘉永七年寅年正月改正(大妻女子大所蔵)



龍野一雄先生：漢方入門講座

❁ 半夏、茯苓、生姜は停水を駆る薬物、半夏、厚朴、生姜、蘇葉は痞えた気を開く薬、従ってこの処方では**停水があって気が痞えている所に使うことが判る**。停水は胃内でも体表でもよい。痞えは咽喉部でも精神的な気鬱でもよい。

❁ 運用1 咽喉部異常感

❁ 運用2 気鬱

❁ 運用3 虚証の浮腫で咽喉部に異常感があるもの



龍野一雄著：漢方入門講座

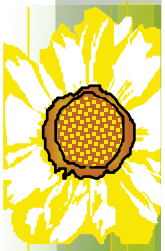
❁ 気鬱

❁ ただし、半夏厚朴湯の証の人が悉く気鬱だと思っ
てはいけない。時には反対に非常におしゃべり
でありながら、それが言足りないような感じ、発
想が発言より先行して痞えるというような場合
にも本方を使う。大体咳払いと言わんと欲して
言えざる潜在意識の表現のことがあるのだ。そ
こに身体的には局所的な咽喉狭窄感となり、精
神的には気痞なのである。



大塚敬節先生のカルテから

- ❁ 初診で半夏厚朴湯を処方された患者
- ❁ 処方うけた患者 20名、男性9名、女性11名(2514名中)
- ❁ 心房細動 2名、慢性胃炎 2名、自律神経失調症 2名、妊娠悪阻 1名、気管支喘息 5名、慢性気管支炎 2名、鼻炎鼻閉 2名、粘液腫(腹部回盲部) 1名、狭心症 1名、不眠症 1名、月経異常 1名
- ❁ 20名のうち、咽中灸燻の記載があったのは、主訴が慢性胃炎である1名だけ。



大塚敬節先生のカルテから


- ❁ 半夏厚朴湯単独での処方は 3名(慢性胃炎と鼻閉)
- ❁ 合方が17名
- ❁ **気管支喘息**; 合麻杏甘石湯、合小青竜湯、合華蓋散料、合小柴胡湯
- ❁ **自律神経失調症、心房細動**; 合桂枝加竜骨牡蠣湯、合加味逍遙散、合桂枝甘草竜骨牡蠣湯
- ❁ **狭心症**; 合木防已湯




大塚敬節先生：漢方診療三十年



213 半夏厚朴湯の覚え書(抜粋)



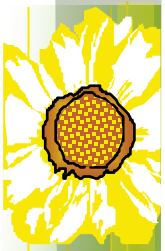
半夏厚朴湯は、めまい、発作性動悸、のどのつまる感じ、とり越し苦労、不安感など訴える神経症の患者に用いるほかに、胃下垂症、胃炎などで、むねにつかえるものにも用いる。また風邪ののち声が嘎れたものにも用いる。小柴胡湯合半夏厚朴湯、大柴胡湯合半夏厚朴湯は、気管支喘息によく用いられる。和田東郭は、気鬱からきた月経の不順をこの方で治した。



ひどく衰弱している患者や腹部が軟弱無力で脈に力のない場合には、半夏厚朴湯を用いて、かえって疲れることがあるから注意しなければならない。



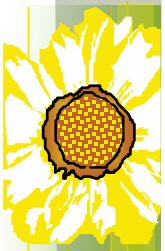
神経症といえ、何でもかんでも半夏厚朴湯を用いてよいということはない。



半夏厚朴湯：症例1

❁ 症例1 70歳 男性

❁ 現病歴 日頃より脂質代謝異常症にて、当院内科通院中。リバロ1mgの内服継続中。1年前から下肢のほてりにて桂枝茯苓丸エキス細粒6g分2の内服をしており、下肢のほてり感はほとんど消失している。1か月まえよりのどにポツンとしたかんじの突起物があるような感じがする。近医耳鼻咽喉科を受診し異常なしといわれている。



症例1



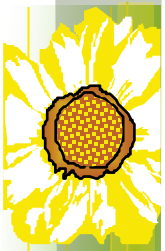
患者自身が撮影し、ご提供いただいた写真

- ❁ 脈；渋
- ❁ 舌；胖大、厚い白苔
- ❁ 左気舎、左欠盆に圧痛あり
- ❁ 半夏厚朴湯エキス細粒6g分2 を処方
- ❁ 上記、4日内服し、4日めで左記の小塊を喀出。以後、のどの違和感なし



半夏厚朴湯：症例2

- ❁ 症例2 女性 28歳 中国人
- ❁ 現病歴：平成×年8月上旬から頸全体がしめつけられているかんじ。からだ全体が凝っているかんじがある。肩こりもある。飲み込みに問題なし。水や固形物で痞えることなし。
- ❁ 平成×年9月〇日に、当院循環器医受診、咽頭の発赤なく、頸部のリンパ節腫脹なし、甲状腺腫なし。咽頭の問題ではなく、肩こりが主という判断にて、ミオナール(50)3T 3×毎食後、モーラステープを処方された。



半夏厚朴湯：症例2

- ❁ 症例2 女性 28歳 中国人
- ❁ 前回受診後、27日経過し、当院再受診。ミオナールにて全体的な緊張感はなくなっている様子。主訴は飲み込む時に痞えるかんじ。のどが狭くなっているかんじ。毎日前記の感じがある。甲状腺腫大なし、リンパ節腫脹なし
- ❁ 肩こりあり、左欠盆に圧痛あり
- ❁ 舌：淡紅、胖大、歯圧痕あり、やや厚い白苔あり



半夏厚朴湯：症例2

❁ 症例2 女性 28歳 中国人

❁ 「〇〇さんの国でつくられた、ぴったりの薬があります。半夏厚朴湯(半夏厚朴湯エキス細粒6g分2)とといいます。これを出しますのでしっかり内服してください。28歳と若く、悪性の疾患はないと思いますが、一度上部消化管内視鏡をしておきましょう」

❁ 上部消化管内視鏡：のどを含め、異常所見なし、血液、生化学でも LDL169以外異常なし

❁ 2週間後内科外来：咽頭喉頭閉塞感消失！！



まとめ

- ❁ 咽中灸癰は、気鬱、気滞の病態で出現する症状である。
- ❁ 咽喉部の経絡の滞りであり、咽喉部の経筋病と捉えることが可能である。鍼灸、良導絡治療が有効である。
- ❁ 咽中灸癰の特効薬は半夏厚朴湯であり、気滞と痰飲があることが正証である。
- ❁ 咽中灸癰には東洋医学的アプローチが有効であるが現代医学診断をおろそかにしない。



御清聴ありがとうございました。

